

CHIBA

東日本ユニオン千葉地方本部

発行者: 関谷 道徳

編集者: 情 宣 部

多くの組合員が参加し、議論を交わす！ 組合員総対話集会 開催する！

JR東日本ユニオン千葉地本は11月5～7日「組合員総対話集会」を開催しました。1日2回、計6回の開催で多くの組合員が参加しました。参加できなかった組合員については、新たに日を設定して意見集約します！2020年度年末手当満額獲得に向け、千葉地本一丸となって最後までたたかい抜きます！

●主な組合員の声●

- ・この状況下でも変わらず安全・安定輸送に従事してきた。満額回答すべき！
- ・消費税も物価も上がっている！社員の生活も苦しいのを分かってほしい。
- ・要求内容はもともとだ。成績率の加算を見送るべき。今年は優劣付ける状況ではない！みんなコロナ禍で神経すり減らして仕事しているではないか！
- ・ボーナスは生計費。夏季手当は「旅費の精算」で顕微化されたが、年末手当は譲れない！
- ・満額出せる体力は十分ある！俺たちは機械じゃない！家族を養っていかなければならない！社員にもっと投資しろ！
- ・エルダー社員は基本給も低い！状況によっては本気で死活問題だ。



第2回交渉おこなう！ これからが正念場！

本部は11月6日、2020年度年末手当の第2回団体交渉をおこないました。この間、多くの組合員・社員が本部HPに投稿してくれた切実な声を力に交渉に臨み「3.0ヶ月満額回答」を要求しました！

<組合>

・夏季手当の低額回答は「モチベーション低下につながった」と多くの声。働きがいの向上含め、安定支給を！

《経営側》

・働きがいと賃金を両輪で見ている。手当が生計費のウエイトを占めていると認識。満額を支払う体力がないわけではない。 ※詳しくは本部情報参照

2回目の交渉が終了しました。通年通りであれば第3回団体交渉で「回答」が出されます。しかし職場の声・叫びは、まだまだ止むことはありません！私たちが声を上げ続けられない限り、会社の思うツボです！「回答待ち」になることなく、第3回、第4回団体交渉に向け本部交渉団にエールを送ろう！今、問わずして、いつ問う？ Jrtuhonbu@icloud.com 件名「年末手当要求」に熱いメッセージを送り続けよう！皆の力が強い「力」になる！